

カンボジアの全ての子どもたちのための学校保健サービス創生事業

School Health Development Project for all Cambodian Children

2020 年中間報告 (2020 年 5 月 20 日作成)

2020 年 1 月より日本財団の助成により「カンボジアの全ての子どもたちのための学校保健サービス創生事業」を開始した。本事業は、東京学芸大学を拠点とする日本側とプノンペンを拠点とするカンボジア側とで取り組んでいる。1 月から 5 月中旬までに本プロジェクトで行ってきた業務を報告する。この期間に日本側とカンボジア側で実施した業務の経過を、資料 1, 資料 2 にまとめた。

主に取り組んだ事業の柱立ては、①教員養成大学(TEC)における小学校教員用テキストの作成、②中学校の学校保健コースにおける授業科目のシラバスの作成、③KIZUNA と合同でプノンペンとバタンバン教員養成大学教員、日本財団・KIZUNA 奨学金の Alumni を対象にした学校保健ワークショップの開催、④学校保健の授業担当教員を選抜するための基準の作成と事前アンケートの作成、選考スケジュールの作成、⑤教育・青少年・スポーツ省との MOU の締結である。その概要を以下に示す。

①教員養成大学における小学校教員用シラバスとテキストの作成

小学校教員用のテキストは、2 月までにシラバスを作成し、4 月から章立てを行い、日本語で執筆を始めている。その構成は、現在のところ以下の 17 章である。

はじめに 挨拶, テキストの目的, 特徴	第 1 章 健康とは, 学校保健とは
第 2 章 体のしくみと働き	第 3 章 子供の成長・発達
第 4 章 身の回りの清潔・衛生と健康	第 5 章 生活習慣と健康
第 6 章 生活習慣病の予防	第 7 章 感染症の予防
第 8 章 目と歯の健康の予防	第 9 章 身体測定・健康診断の意義
第 10 章 薬物の健康影響	第 11 章 思春期の心身の変化
第 12 章 心の健康	第 13 章 環境と健康・エコヘルス
第 14 章 学校安全と危機管理	第 15 章 応急手当の理論と実技
第 16 章 地域の保健サービスと学校保健	第 17 章 カンボジア学校保健の未来

②中学校の学校保健コースにおける授業科目のシラバスの作成

30 単位・30 科目の授業科目を学年単位で構造化を行い、1 年生時の 12 科目のシラバス案を作成した。12 科目の科目の概要は資料 3 の通りである。これをもとに、中学校の学校保健のテキストを作成していく。

③学校保健ワークショップの開催

2020 年 3 月 3 日ホテル・HIMAWARI において、第 1 回学校保健ワークショップを開催した。参加者はプノンペン TEC10 名、バタンバン TEC10 名、KIZUNA の Alumni18 名であった。ワークショップでは、東京学芸大学関係の 3 名が学校保健、健康診断・健康管理に関する 3 つの講義と身体計測の演習を行った。

④学校保健の授業担当教員を選抜するための基準の作成と事前アンケートの作成、選考スケジュールの作成

学校保健の授業担当教員を選抜するための基準を提示し、TEC と了解が得られ、ワークショップ参加者を中心に事前アンケート実施の準備、希望する教員の募集、適格者を判断するための面接のスケジュールについても TEC と協議し、概ねスケジュールを決定した。

⑤教育・青少年・スポーツ省との MOU の締結

3 月 4 日に教育・青少年・スポーツ省大臣と面会し、MOU の締結を行った。